

土に新の古難くお受。諸友の
努力の効果が読いと違ひおさし
このことは協賛のうらも多しこと
す。貴友が海海に創作の
力御せらるゝ。昔ながら散紙
しこの次作のす。短し詩人
はゆ海海に望まるといふす。
どうか学力をいかに散らすこと
は弊あり遊りゆめ之立物は信
と尺せしよまらぬことと人から祈
つこのます。他はすづの傍註で
す。
小生はすほしはらし慣習し讀
書に疲しあづし、従つて待作に

お念しごまお仰しにさあしいこ
とごまかこよし止むを得ません。
早く作に投題し得る時機の
到来することを願つておます。
先づ初めと西下。久相と叙
しましん。中絶の深とてお在者
に別れをいへ。まーんが
貴友のせいらしく思はれますが
どうかよろしく風流をたまふ。
貴友のところにいは夫人の愛見
しおなけえよのしと思ひます。
いつか心にかかりあはうけたつね
おせすよーのまます。

康文ん

三井井三

研花



東京市外
郵便局
井上康文様

研花
中野区